

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果（河内町）

## 1 調査内容

- (1) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年(9学年)  
 (2) 調査事項 小学校:国語・算数、中学校:国語・数学  
 (3) 質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査  
 (4) 調査日時 令和6年4月18日(木)【16日(火)9学年質問紙調査のみ】  
 【23日(火)6学年質問紙調査のみ】

## 2 国語

(1) 成果が見られた主な設問とその趣旨	
【小6設問3一】 【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。	【趣旨】 文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
【小6設問3二(1)】 「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する。	【趣旨】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
【中3設問2一】 本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。	【趣旨】 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。
【中3設問3一】 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する。	【趣旨】 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。
【中3設問4三】 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。	【趣旨】 行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

(2) 課題が見られた主な設問とその趣旨	
【小6設問1二(2)】 オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する。	【趣旨】 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
【小6設問2三ア】 【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す。(きょうぎ)	【趣旨】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
【小6設問3四】 【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する。	【趣旨】 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる。
【中3設問1四】 話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く。	【趣旨】 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
【中3設問2三】 本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する。	【趣旨】 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる。
【中3設問3四】 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。	【趣旨】 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。

(3) 課題の改善に向けて	
【小6】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合に、どのような資料を用意すればよいか考える場面を設定する。</li> <li>・漢字を書くことについて、文や文章の中で使おうとする習慣、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くように声をかける。</li> <li>・読書の意義をより強く実感できるように、本などの中の言葉から自分を支える言葉を見つけたり、今までになかった考えを発見したりする活動を取り入れる。</li> </ul>

**【中3】**

- ・グループで話題を決めて話し合い、話し合ったことを基に自分の考えをまとめる学習活動を取り入れる。
- ・説明的な文章を読んで筆者の主張と例示を捉え、文章の構成や展開について他者に説明する学習活動を取り入れる。
- ・物語を創作する学習を設定し、下書きした文章を読み合い、どのようなことを伝えようとして各場面の内容を構想していたのか、自分の伝えたいことが伝わるような描写になっているかなどを、説明したり、確かめたりする学習活動を取り入れる。

**3 算数・数学****(1) 成果が見られた主な設問とその趣旨**

<b>【小6設問3(3)】</b> 直径 22 cm のボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。	<b>【趣旨】</b> 球の直径の長さ と 立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。
<b>【小6設問5(3)】</b> 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。	<b>【趣旨】</b> 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。
<b>【中3設問5】</b> 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める。	<b>【趣旨】</b> 簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。
<b>【中3設問7(2)】</b> 車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する。	<b>【趣旨】</b> 複数集団のデータ分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

**(2) 課題が見られた主な設問とその趣旨**

<b>【小6設問2(1)】</b> $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 $350 \times 16$ の積の求め方と考えを書く。	<b>【趣旨】</b> 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。
<b>【小6設問2(2)】</b> 除数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ。	<b>【趣旨】</b> 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる。
<b>【小6設問3(1)】</b> 作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ。	<b>【趣旨】</b> 直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる。
<b>【中3設問1】</b> $n$ を整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれ $n$ を用いた式で表す。	<b>【趣旨】</b> 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる。
<b>【中3設問2】</b> 等式 $6x + 2y = 1$ を $y$ について解く。	<b>【趣旨】</b> 等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる。
<b>【中3設問7(1)】</b> 障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める。	<b>【趣旨】</b> 与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる。

(3) 課題の改善に向けて

【小6】

- ・かける数を8倍にすると積も8倍になるという計算で成り立つ性質に関して、図や式を用いて場面と関連付けて理解したり、答えの求め方について、筋道を立てて説明したりする機会を設定する。
- ・除数と商の大きさの関係について理解できるように、図に表すなどし、具体的な場面と式を行き来し、商の大きさを考察する場面を設定する。
- ・方眼紙に途中までかかれた直方体の見取図の続きのかき方を考える機会を取り上げる。そして、図をかいた後に、見取図が正しくかけているかについて、頂点の位置や辺の長さ、平行といった位置関係について振り返り、必要に応じて修正する機会も設定する。

【中3】

- ・ $n$ に具体的な整数を代入した時に連続する二つの偶数を表さない場合があることを理解できるように、連続する二つの偶数を「 $n+2, n+4$ 」と表した場合を取り上げ、検討する機会を設ける。
- ・左辺の $6x$ を右辺に移項することや $y$ の係数である2で両辺をわることの意味、それが等式の性質を根拠にしていることを必ず確認する。
- ・10cmの位置から進んだ距離について調べた結果から代表値を求め、段階1の速さで進む車型ロボットが、10cmの位置から進んで止まる距離の傾向について説明する場面を設定する。

4 質問紙調査

※数値は「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合(%)

1 望ましい生活習慣に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
朝食を毎日食べている	100.0%	93.7%	93.7%	85.0%	91.7%	91.2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.0%	84.0%	82.9%	87.5%	81.7%	80.7%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.0%	92.3%	91.6%	92.5%	92.9%	92.5%

【調査結果と今後の取組について】

朝食接種率については、前期課程で100%となっているが、後期課程になると90%を下回り、茨城県・全国平均より低い傾向にある。起床時刻については、後期課程で「同じ時刻に寝ている」と回答する生徒が多いが、前期課程で「同じ時刻に寝ている」と回答する児童は茨城県・全国平均より高いが、後期課程に比べて低い傾向にある。起床時刻については、前期課程の方が後期課程より高い傾向がある。今後学校では、後期課程を中心に、学級活動等の時間に栄養教諭や町保健師等の外部講師を活用し、朝食の大切さについて学習する時間を設け、健康的な生活習慣づくりに取り組んでいく。家庭への働きかけをする。

2 自尊感情に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
自分にはよいところがある	75.0%	82.7%	84.1%	80.0%	82.7%	83.3%
将来の夢や目標を持っている	90.0%	84.7%	82.4%	70.0%	68.0%	66.3%
人の役に立つ人間になりたい	95.0%	96.0%	95.9%	100%	95.4%	95.2%

【調査結果と今後の取組について】

「自分にはよいところがある」の調査では、前期課程よりも後期課程の方が少し高い傾向にあるが、どちらも茨城県・全国平均より低い傾向が見られる。また、「将来の夢や目標を持っている」の調査では、前期課程・後期課程とも茨城県・全国平均より高い傾向が見られる。「人の役に立つ人間になりたい」の調査では、前期課程が茨城県・全国平均よりやや低い傾向で、後期課程が茨城県・全国平均より高い傾向になっている。学校では、引き続き前期課程のうちに「自分にはよいところがある」と思うことができるよう、体験活動等を効果的に取り入れ、豊かな心の育成やキャリア教育を推進していく。さらに、後期課程で「将来の夢や目標を持っている」と思うことができるよう、外部講師を活用したキャリア教育を町主催で推進していく。

③規範意識に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
いじめは、どんな理由であってもいけない	95.0%	97.1%	96.7%	97.5%	96.1%	95.7%
地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う	85.0%	85.4%	83.5%	82.5%	77.7%	76.1%

【調査結果と今後の取組について】

「いじめはどんな理由があってもいけない」の調査では、前期課程より後期課程の方が高い傾向にある。学校では、いじめに関連した授業を道徳科の授業で計画的に行うとともに、すべての教育活動において、児童生徒が互いに認め合う集団づくりを今後も推進していく。「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う」の調査では、後期課程の生徒の意識が茨城県・全国平均より約5%高く、よりよい未来にしていきたいと考えている生徒が多いことが分かる。学校では、前期課程の児童も巻き込み、地域社会の課題に目を向けることができるように、児童生徒会を中心とした地域や社会をよくするための活動を取り入れていく。

④学習活動に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる 【意欲】	75.0%	83.1%	81.9%	72.5%	80.9%	80.3%
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている 【思考】	90.0%	87.1%	86.3%	75.0%	86.9%	86.1%
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している 【表現】	80.0%	65.8%	67.6%	60.0%	63.6%	64.8%

【調査結果と今後の取組について】

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている」「自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表している」の調査では、前期課程が茨城県・全国平均より高い割合になっており、後期課程は茨城県・全国平均より低い割合になっている。学校では、後期課程においてペアやグループでの話し合い活動をもっと取り入れ、アウトプットを重視した授業を展開していく。「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の調査では、前期課程・後期課程とも茨城県・全国平均より低い割合になっている。学校では、さらに児童生徒が「知りたい、やってみたい、もっと」を思うことができる学習課題を児童生徒とともに作り、学習を進めていく。

⑤ICT を活用した学習活動に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
学校では、PC・タブレットなどの ICT 機器を週1回以上使用している	70.0%	86.4%	85.5%	62.5%	94.3%	89.0%
学校の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができていると思う	85.0%	86.0%	86.0%	47.5%	84.3%	82.4%

【調査結果と今後の取組について】

「学校では、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している」の調査から、前期課程・後期課程とも茨城県・全国平均より低い傾向にある。特に後期課程においては、茨城県・全国平均より約30%低い傾向にある。また、「学校の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めていることができていると思う」の調査では、前期課程において、茨城県・全国平均とほぼ同じ割合である。しかし、後期課程において、茨城県・全国平均より約35%低い傾向にある。今後は、児童生徒が PC・タブレットなどの ICT 機器を使う利点を感じることができるよう使用法を提示できるように、教職員で研修する機会を設けていく。そして、ICT 活用を通して、児童生徒の表現力の育成や情報活用能力の育成に努めていく。

⑥家庭学習に関する内容について

【令和6年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
学校以外で平日30分以上 PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っている	50.0%	51.3%	44.2%	25.0%	42.8%	36.4%
学校以外で平日 1 時間以上勉強している	75.0%	58.4%	54.6%	62.5%	66.7%	64.3%
学校が休みの日に、1 時間以上勉強している	75.0%	58.6%	48.6%	65.0%	70.5%	63.0%

【調査結果と今後の取組について】

「学校以外で平日 30 分以上 PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っている」の調査では、前期課程で茨城県・全国平均の割合とほぼ同じ割合である。しかし、後期課程では茨城県・全国平均の割合より大幅に低く、約 25%にとどまっている。「学校以外で平日 1 時間以上勉強している」の調査では、前期課程で茨城県・全国平均を大幅に超え、約 75%となっている。しかし、後期課程では、茨城県・全国平均の割合より少し低い割合になっている。また、「学校が休みの日に、1 時間以上勉強している」の調査でも、前期課程で茨城県・全国平均を大幅に超え、後期課程で茨城県・全国平均の割合より少し低い割合になっている。学校では、自分が興味をもったことについて調べたり、学習した内容について再度復習したりするなど、AIドリルを活用することも含め、自主学習を推進している。今後も学校と家庭とで連携し、家庭学習が定着するよう、協力を呼びかけていく。